

第3回三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会 議事概要

日時：令和7年4月25日（金） 14：30～16：15

場所：JMS アステールプラザ2階 多目的スタジオ

出席者：委員13名、オブザーバー1名

1 開会（会長挨拶）

- ・3月に広島の新しい駅ビル「minamoa」がオープンし、20日間で220万人が来場している。駅を中心としたまちづくりがいよいよスタートした。8月3日に路面電車が広島駅2階へ乗り入れるので、広島駅に来られた方が紙屋町、八丁堀へ流れる好循環や、逆の方向である安芸高田・三次の方にも公共交通を利用して移動していただく流れが生まれると良いと思う。
- ・この協議会は、まちづくりを中心に交通を考える主旨なので、駅ビルの話はフィットする内容だと思う。
- ・本日は、三次市、安芸高田市、広島市から魅力的な資源があるという報告があると思うので、皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

2 議事（1）JR 芸備線に係る基本認識の共有

庶務より、資料1「JR 芸備線に係る基本認識の共有」により、地域カルテ・駅カルテ・地域間移動の現状分析結果について説明後、委員より意見あり。

【奥井委員（JR 西日本）】

- ・エリア全体のまとめとして、エリアをまたいだ移動が不可欠であり、広域的な観点において芸備線が重要な役割を求められていること、沿線で年間を通じてイベントも開催されるなど、芸備線の潜在的な需要もあるということに改めて感じた。
- ・商業施設があるが、芸備線のご利用につながっていない実態もあり、通勤で使っていただくことも、渋滞解消とまちづくりの観点で重要な視点だと思う。
- ・ご利用頂くためにはどのような施策が有効であるのか、例えば企業との連携ということも、今後検討していく上で重要な視点の一つだと考える。
- ・駅舎についての課題も挙げられているので、当社管内にも地元の皆様と連携して駅舎を活用していただくなどの様々な事例がある。そういった事例研究を進めてみることも有効な手段だと考える。
- ・駅の各施設においては老朽化が進んでいる部分もあり、当社単独ではシンプルな機能にせざるを得ない側面もあるが、地域の皆様のアイデアをお借りし、共存することで駅を再生していくことを考えていきたいと思う。

【渡邊会長（学識経験者）】

- ・以前、姫新線の駅で、民間企業の本社機能と駅が一体的になった話を聞いたことがある。
- ・駅とコンビニエンスストア、駅と郵便局といったような親和性の高い施設もありそうなので、JRだけでなく、まちぐるみでどのように駅という結節点を使うのがとても重要である。

【渡邊会長（学識経験者）】

- ・通勤客は朝忙しく、できるだけ時間を読める行動したいのは間違いないと思う。その中で、バスだと渋滞に巻き込まれる懸念があるので、確実に走る列車には非常にアドバンテージがあると思う。
- ・バスや乗合タクシーを全ての地域で整備することは厳しい所もあると思うので、パーク&ライド駐車場を整備するとか、駅へ車で来て、列車で街中へ行くことも選択肢になると思う。
- ・観光客の移動手段として、分散している観光地の最寄り駅までは列車で行き、レンタカーやカーシェアを利用して観光地を回ることが出来ると良い。
- ・そういった沿線のカーシェアを、休日は観光客が利用する可能性があり、平日は業務利用で工場等に行く方が、広島駅からレンタカーを借りるのではなく、芸備線の最寄り駅まで列車で行き、そこからカーシェアを使うことで車の運転距離を短くする利用もあると思うので、実験として試すことも良いと個人的に感じた。
- ・まだまだ利用のポテンシャルはある印象を持った。

【呑谷委員（三次市）】

- ・地域間移動の説明の中で、三次市発の東区や広島市(その他)着への割合が大幅に減少しており、その要因として就業者は西日本豪雨による一部区間による長期間運休が影響しており、通学者に関しては高速バスの利用の転換に分かれているが、同じ時期でもあり両方が影響していると思う。
- ・通学者については、JRのほうが定期的割引率が高いので、高速バスよりはJRを推奨する面もあるので、逆にこちらのほうが西日本豪雨の影響があると思ったので、両方に関係する要因が噛み合っていて関係していると思った。

【渡邊会長（学識経験者）】

- ・災害時のリダンダンシーを考えると、複数ルートがあることは大きな意味がある。

【渡邊会長（学識経験者）】

- ・5月25日に東広島高田道路が開通することで、吉田町の中心部から芸備線へのアクセスが改善されると思うが、何か今後の予定があれば教えて欲しい。

【高下委員（安芸高田市）】

- ・現状は向原駅と安芸高田市役所のある吉田町中心部へのアクセスがあまり良くない。
- ・安芸高田市役所へ来るには、国道54号線を通るバスを利用するしかないという状況であるが、吉田と向原を結ぶトンネルが5月25日に開通する。
- ・そこを通る公共交通の整備はこれから検討する。おそらくバスになると思うが、そこに公共交通は通して、吉田中心部に移動しやすい形をぜひ作りたい。
- ・人の動きも大きく変わるだろうと思うし、いろんな選択肢ができるので、これは何とか完成させたいと思う。

【加藤委員（学識経験者）】

- ・三次市の地域間移動が減少で推移しており、高速バス利用への転換が推察されるが、令和3年

11月から「どっちも割きっぷ」が発売されていて、その利用も好調である。

- ・令和7年に国勢調査があるが、高速バス利用とJR利用を併用するといった利用形態に政策的に誘導していることもあるので、またその部分の実態を見る必要があると思う。
- ・安芸高田市の東広島高田道路が開通するため、JRと広電バスと東広島高田道路を運行する二次交通を活用して「どっちも割きっぷ」のような形を作れるのではないかと思う。記念イベントや記念切符の発売、他にも、カーシェアをセットにしたパッケージなども良いと思う。
- ・既存資料で観光のデータが示されているが、広島市に来た後に県北へ訪問する方が、宮島の50.5%と比較して歴然とした差がある。
- ・宮島のオーバーツーリズムと思われる観光利用者に、県北の観光資源へ来てもらう、または芸備線を利用してもらうといったコンテンツを考えていく必要があると思う。
- ・各駅で駅勢圏人口に対して乗車人員が1割程度になっているが、極端に少ない駅に関しては、駅勢圏を越えて便利な近隣駅を利用している可能性もあるため掘り起こしをして、どうすれば利用するかの深堀をしても良いと思う。
- ・今回協議会の取組として集約された駅カルテや地域カルテの情報を知ることによって利用してくれる方もいると思うので、住民やユーザーの方にこれらの情報を積極的に発信することもお願いしたい。

3 議事 (2) 3市連携したまちづくり及び移動創出に係る課題整理

資料2「3市連携したまちづくり及び移動創出に係る課題整理」を呑谷委員（三次市）、高下委員（安芸高田市）、田中委員（広島市安佐北区）、荒木委員（広島市東区）の順で各エリアを説明後、庶務から全体エリアに関する説明。その後、委員より意見あり。

【戸政委員（広島市）】

- ・広島広域都市圏発展ビジョンの担当部署として取りまとめをしている。このビジョンの中心的概念的なコンセプトになっているのが、人口減少がやむを得ない中、いかにまちの活力、魅力の維持・向上を図っていくかというところで取組を進めている。
- ・具体的には、経済面に書いてあるヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏ということで、ヒトやモノといったものがこのエリア内でしっかり循環していく取組をしっかりとしていこうということが中核的な考え方になろうかと思っている。
- ・そうした中で力を入れて取り組んでいるのが観光の振興で、どこか1か所の観光スポットに来てもらうのではなく、いろんな観光スポットも巡って循環してもらう取組を進めている。芸備線を活用して観光地を巡るツアーも試行的に実施している。
- ・その観点からすると、3市連携した移動創出に係る課題について、経済面、産業面からの取組についてもしっかりと検討が進められたら良いのではないかと思う。

【山田委員（広島市）】

- ・バスとの連携とした機能向上を図っていく中で、本数を増やす、あるいはダイヤの改善をするという話があるがリソース等の問題もある。全国では、徳島や岩手でJRとバス会社が一緒になって、便が不足するところを相互補完して運行する取組をやっている。
- ・芸備線沿線では、並行するバス路線があるところが多いと思う。三次市や安芸高田市のニー

ズで速達性があり、快速を走らせる方法もあるが、快速通過駅の利便性の確保や向上をさせるのであれば、そういった取組を参考にすることも良いと思う。

- ・バスも運転手不足なので相互補完ができる条件が整っていると思う。
- ・また、バスとの連携を図る上で、特に本市の芸備線の駅は駅前まで直接車が乗り入れる環境が整っていないところが多いので、交通結節点とする上では改良が必要となってくる。
- ・二点目として、サイクルトレインをイベント的には実施しているが、日常で常設できないかと思っている。二次交通として、駅まで自転車で来てそのまま載せることができれば、学生利用や観光利用の方がストレスフリーで巡ることも可能になる。
- ・一方で、広島駅の朝ラッシュの時間帯や駅施設の問題等もある。例えば、駅によってはこ線橋があり乗降がうまくいかない可能性があるため、乗降できる駅を限定するといった工夫が必要である。
- ・先ほど三次市から駅で待ち時間を多目的に利用する話があったので、ユーザーの方へ意見聴取をすると良いと思う。

【三島委員(オブザーバー)(広島県)】

- ・取組の方向性として、広域にわたる取組とまちづくりにつながることを連携してやると受け止めている。
- ・再構築協議会において、芸備線の可能性を最大限追求するための様々な実証事業の提案があり、広島市から庄原市まで盛り込まれている。今後の進め方と時間のギャップがあるかもしれないが、再構築協議会の取組と連動して、広域にわたる観光や地域のまちづくりという点は連携できる部分もあると思うので、地域の取組との連携の視点も持って検討して欲しい。

【加藤委員(学識経験者)】

- ・待合施設のイメージとして、山陽本線西高屋駅が挙げられる。ここは、地元の高中生等がワークショップを行い、橋上駅に図書館やWi-Fi 接続が可能なコミュニティスペースが整備されている。三次市の交通観光センター二階の会議室や、安芸高田市の向原駅舎も自習などができるといった形で活用すると良いと思う。
- ・広域都市圏発展ビジョンの経済面を重視するという一方で、としぽやWESTER を活用したポイントサービスと沿線が連携した経済圏として展開するというのもあると思う。島根県松江市のバスケットチームの試合に公共交通で行くと、WESTER ポイントがたまる連携施策のように、例えば安芸高田市のサッカーやハンドボール、三次市の女子野球といったスポーツと JR でタイアップをすると大量輸送機関である公共交通の強みが発揮できると思う。
- ・広島県が学生数が少ないため統廃合の対象にした高校がいくつかあるが、そういうところは地域がバックアップし、入学者を確保するために様々な取組をしている。向原高校の生徒数がかかり減っている。また、東広島高田道路開通後、二次交通ができたときのまちづくりの中で、吉田高校へのアクセスも向上する。向原高校や吉田高校の活性化を図り、PR することで、日常利用を増やすということも有効だと思っている。
- ・広島駅の minamoa やスポーツ観戦などに、三次や安芸高田の人も JR に乗って行けるので、広島県の活性化は、三次・安芸高田の活性化でもあり、三次・安芸高田に広島から来てもらうこともますます重要であるため、改めて3市にとって芸備線が大切な交通インフラと認識した。

【奥井委員（JR 西日本）】

- ・3市連携した移動創出に係る課題に、今後当社として駅を中心としたまちづくりを支えて活性化していく手段として、芸備線がどのような役割を果たしていくべきか、芸備線にどのような機能強化を図ることで、3市連携したまちづくりに影響できるのかといったことについて皆様とともに議論を進めていきたいと考えている。
- ・この協議会の本質は、3市連携したまちづくりと考えているので、各エリアでそれぞれのまちづくりの方向性等々を記載しているが、今後の具体的な施策を議論していく上で、観光振興や経済面での循環も含めて、3市特有の目指すべき共通の姿のようなビジョンを掲げてはどうかと考えている。

4 議事 (3) その他

庶務から「資料3 今後の流れについて」を説明後、委員から意見あり。

【加藤委員（学識経験者）】

- ・次の幹事会の開催はいつ頃を予定しているか。

【庶務】

- ・次回幹事会は、これから各委員の日程調整を行うため現時点では未定。

【奥井委員（JR 西日本）】

- ・3市連携したまちづくりや移動創出に係る方向性を踏まえ、今後の流れを示していただき、今後は芸備線の利便性向上に資する機能強化等を実現するための公的支援についての検討するフレーズに入っていくのかと思っている。
- ・当社として、どういった機能強化が実現できれば全3市のまちづくりに、より貢献していくことができるのか具体的な方策の検討に着手したいと考えている。
- ・検討の深度化に当たり、3市の皆様と連携しながら進めたいと思っているので協力をお願いしたい。

【靱委員（中国運輸局）】

- ・今年度も再構築調査事業を国として協力していきたいと思うので、引き続き、良い調査とともに今後の検討が進めばと考えている。
- ・駅、地域それぞれの課題について、知る限りの補足をしたい。
- ・待ち時間の活用として、各駅で待合室の要望が強いという印象が非常に残っている。事例として、この3月に竣工した西高屋駅の「あったかや」は、市の図書館を併設しており、Wi-Fiや冷暖房が完備された状況で電車を待てる施設となっている。
- ・駅の機能強化については、郵便局との併設はJR東日本エリアでたくさんあり、郵便局、日本郵便と提携をし、駅舎を活用して切符を売っている。
- ・待合について、芸備線において1番分かりやすいのが備後庄原駅で駅の空いたスペースに机も置いて、冷暖房完備で列車を待てるという状況になっている。
- ・さらに立派な施設となると、中国管内においては、若桜鉄道それからJRの因美線の八頭町にある郡家（こおげ）という駅で、自治体が非常に立派なコミュニティーセンターというか、

観光案内やお土産も売っており、2階で非常に景色も良くかつ机も置いてある待合スペースのある施設をつくっている。

- ・JRから地元に対して駅の老朽化に際して協力してもらいたいという打診をして、それが結実したところもあれば、一方でなかなかそういう余裕がないということで、ちょっと言葉悪いですけど、バス停ぐらゐの施設の待合の駅になってしまったというケースもある。
- ・これは自治体それぞれの熱意や財政状況もあると思うが、いろんな例があるので、ぜひ何か我々で力になれることがあれば紹介もできるので探していただければと思う。
- ・バスとの共同経営については、JR四国の牟岐（むぎ）線で、バスと鉄道のどちらに乗っても同じ運賃で乗れるという制度、それからJR東日本の山田線でも、ごく最近同様のことを始めて、駅の時刻表も鉄道だけではなくてバスの時刻表も書いてある。
- ・このほかにJR四国の予土線というかなりのローカル線で、同様なことをやっており、会社が出している時刻表や駅の時刻表が出ている。
- ・こうしたことによって本数が少ないなりに、相互補完することをやっていることもある。
- ・サイクルトレインも、全国的に非常に実施件数が増えており、観光目的のほうが多いが、歴史があるところとしては、管内では島根県の一畑電車がある。こちらは有料にはなっているが、非常に一般利用が多い。
- ・これらについて国土交通省のホームページにサイクルトレインの実施事例を掲載しているので、参考にさせていただけたらと思う。

【鈴木委員（広島市）】

- ・地域の活性化、地域のにぎわいづくり、まちの活性化、地域コミュニティの活性化を担当している部署として、駅を中心とした拠点づくりは、これから我々も取り組んでいくべきところであると考えている。特に芸備線を中心にした3つの市が連携してやっていく中では、非常に重要な視点になるのではないかなと思う。
- ・便数が少ないとか、バスとの連絡があまりよくないとか、様々な問題はありますが、逆にそういうところを逆手にとるのも一つの手であり、30分乗り継ぎがある時に、駅舎や駅の周辺の待合施設みたいな場所があれば、待ち時間に人がにぎわう状況も発生し得ると思う。
- ・今後我々としても、地域の活性化を芸備線やその沿線の中でどんなことができるのかしっかりと考えていきたいと思う。

【渡邊会長（学識経験者）】

- ・皆さんの意見を聞いて、思ったことを4点ほど話したい。まず1点目は、まちづくり交通を変えていくチャンスは結構多いのではないかと意識を持った。
- ・広島の駅周辺での大きな変化や安芸高田市の東広島高田道路にトンネルができたということだけでなく、広島駅周辺ではペDESTリアンデッキができたたり、新アリーナを作るという新しい動きがある。この3市は生活圏が広いことが共通していると思うので、広域的な連携の可能性を感じた。
- ・運輸局から郵便局との合築やコミュニティとの合築とあったが、民間レベルでも細かく見ていくと建て替え更新のタイミングがありチャンスも多いが、それをスルーしてきてしまったところも結構あると思うので、そういったチャンスを生かすことがとても大事だと思う。

- ・2点目は連携で、各エリアでまちづくり団体が活動されているので、そういったまちづくり団体同士がお互いに連携することが可能になれば良いと思う。例えば、行政と民間の方々と交流していく中で、新たな動きが生まれたり、ビジョンが出来たりといった形で動いていくとすごく良いと思う。
- ・3点目が、人口が減少していく中で、人が減っても活力を維持向上できることが大事で、見かけの人口を増やすのが大事だと思う。居住人口だけでは厳しいので、交流人口や関係人口といった、いろんな方に来ていただく中で活力を維持することが大事で、そうすると当然移動が伴うので、その移動に合わせてどのようにまちづくりを考えていくのか、その1つの答えとして、芸備線をうまく活用することがあると思う。
- ・3市連携の課題のところでは経済面での課題の話があったが、観光客の方に来ていただくことや、広島県はスポーツ王国なので、湧永のハンドボールといったスポーツの話に加えて、各地域の資源を生かしたローカルベンチャーみたいなものが生まれていくと、人口減少の問題や経済面的な問題の解決につながると思う。
- ・4点目は、まずはできるところからやってみるのが良いと思う。再構築協議会でも実証事業に取り組むと聞いており、全国ではいろんな社会実験も行われている。まずは、高校生の自習室を作る、駅周辺の空き地を使ってパークアンドライドをやる、ポイント付与する、Maas まではいかなくてもサブスクで動くとか、何かできるところからやってみるのがとても重要だと感じた。

5 閉会